

1 会議に関する事項

(1)平成24年度第1回理事会

日 時： 平成24年6月19日（火）
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成23年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 会長の選任について
議案第3号 平成24年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2)平成24年度第1回評議員会

日 時： 平成24年6月28日（木）
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成23年度決算報告について
議案第2号 役員の変更について

(3)平成24年度第2回理事会

日 時： 平成24年11月9日（金）
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成24年度事業計画の変更について
議案第2号 平成24年度公益目的事業会計予算の補正について
議案第3号 平成24年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(4)平成24年度第2回評議員会

日 時： 平成24年11月21日（水）
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成24年度事業計画の変更について
議案第2号 平成24年度公益目的事業会計予算の補正について

(5)平成24年度第3回理事会

日 時： 平成25年3月12日（火）
会 場： 国立劇場おきなわ会議室
議 事： 議案第1号 平成25年度事業計画及び収支予算について
議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について
議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団資料利用規程の一部改正について
議案第4号 平成25年度事務局職員の任用について
議案第5号 平成24年度第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(6)平成24年度第3回評議員会

日 時： 平成25年3月19日（火）

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成25年度事業計画及び収支予算について

議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について

議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団資料利用規程の一部改正について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1)自主公演の開催

29公演42回（定期公演22回,企画公演9回,研究公演1回,普及公演10回）を実施した。

定期公演（19公演 22回）

公 演 名	公演数	回 数
組 踊	6	6
琉球舞踊	8	9
三線音楽（民謡・古典音楽）	1	1
沖縄芝居	2	4
民俗芸能	2	2

企画公演（6公演 9回）

公 演 名	公演数	回 数
組踊（新作組踊等）	2	5
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席）	1	1
舞 踊	2	2

研究公演（1公演 1回）

公 演 名	公演数	回 数
組 踊	1	1

普及公演（3公演 10回）

公 演 名	公演数	回 数
組踊鑑賞教室	3	10

日程・演目・出演者

期 日 等					公演名・演目	出 演 者
1	企画 公演	4月14日 4月15日	夜 昼	新作 組踊	新作組踊「十六夜朝顔」 と創作舞踊「舞方」「若 衆笠踊」他	神谷武史、大湾三瑠、新 垣悟、阿嘉修、川満香多、 玉城盛義 他
2	定期 公演	4月28日	昼	琉球 舞踊	新進舞踊家の会 「かぎやで風」「女特 牛節」「かせかけ」「ゼ イ」「本貫花」「前の 浜」他	大城直江、渡久地寂、仲 嶺麗子、比嘉一恵、松原 和美、眞境名由佳子、阿 嘉修、他
3	研究 公演	5月12日	昼	組踊	「御冠船踊の世界Ⅱ 組踊『孝行之巻』」 「かぎやで風」「若衆 笠踊」「本貫花」他	島袋光尋、前當正雄、花 岡尚子、山川こころ、佐 渡山媛、田口博章、岸本 隼人他
4	定期 公演	5月26日	昼	琉球 舞踊	琉舞鑑賞会「うりずん の舞」 「稲まづん」「かせか け」「ぜい」「浜千鳥」 「谷茶前」「打組むん じゅる」他	宮原道子、上地春奈、野 村裕子、玉城秋乃、安里 舞、富山あすか他
5	定期 公演	6月 9日 6月10日	夜 昼	沖縄 芝居	琉球歌劇「伊江島ハン ドー小」 「鷺ぬ鳥」「トゥバラ ーマ」他	佐辺良和、金城真次、小 嶺和佳子、具志幸大、花 岡尚子、知念亜希、嘉数 道彦他
6	普及 公演	6月24日	昼	組踊	「社会人のための組踊 鑑賞教室『執心鐘入』」 解説「組踊の楽しみ方」 組踊「執心鐘入」	嘉数道彦、宮城茂雄、東 江裕吉、佐辺良和、宇座仁 一、天願雄一、岸本隼人、 玉城匠他
7	定期 公演	6月30日	昼	琉球 舞踊	「男性舞踊家の会」 「赤馬節」「作田」「塵」 「湊くり節」「取納奉 行」他	新垣悟、金城真次、佐辺 良和、宮城茂雄、東江裕 吉、宇座仁一、新垣悟他
8	定期 公演	7月14日	昼	組踊	組踊「北山崩」 「稲まづん」「取納奉 行」「湊くり節」他	伊野波盛人、藤村修司、 大湾三瑠、金城真次、仲 村圭央、赤嶺正一、玉城 匠、比嘉克之、眞境名律 弘他
9	定期 公演	7月28日	夜	三線 音楽	琉球弧の島唄 「月ぬ美しや節」「う るずいんじらば」「下 千鳥」「ましゅんく節」 他	池田卓、横目大通、横目 大哉、堀内加奈子、知念 こずえ他

期 日 等					公演名・演目	出 演 者
10	普及公演	8月11日	昼	組踊	「親子のための組踊鑑賞教室」 解説「組踊の楽しみ方」 組踊「女物狂」	知花小百合、神谷武史、島袋由妃、佐辺良和、石川直也、宮城茂雄、西門悠雅他
11	定期公演	8月25日	昼	組踊	組踊「姉妹敵討」	玉城盛義、佐辺良和、金城陽一、東江裕吉、新垣悟、嘉手苺林一、石川直也、岸本隼人、宇座仁一、田口博章、川満香多他
12	定期公演	9月8日	昼	組踊	組踊「奇縁之巻」 「若衆こてい節」「若衆揚口説」「若衆ぜい」	平田智之、小橋川栄介、田口博章、天願雄一、嘉手苺林一、岸本隼人、大城常政、石川直也他
13	定期公演	9月22日	昼	琉球舞踊	重要無形文化財保持者公演「琉球舞踊特選会」 「作田」「本貫花」「女特牛節」「八重瀬の万歳」「本花風」「諸鈍」 「取納奉行」「恋の漁り火」「花風」「浜千鳥」「日傘」「加那ヨ一天川」	宮城幸子、又吉静枝、眞境名直子、島袋光晴、佐藤太圭子、玉城節子、谷田嘉子、志田房子、金城美枝子、親泊久玄、玉城秀子、谷田嘉子・金城美枝子
14	定期公演	10月6日	昼	琉球舞踊	琉舞鑑賞会「豊穰の舞」 「作田」「前の浜」「柳」「金細工」「仲里節」 他	松田邦子、比嘉智香子、平良昌代、浜川真由美、本村みどり他
15	定期公演	10月14日	昼	民俗芸能	「多良間の豊年祭 八月踊り-塩川の芸能-」 「獅子舞（獅子座）」 「総引き」「長寿の大主」「組踊 多田名組（組座）」他	嘉味田博和、西筋速男、村吉常昭、村吉肇、本村雅則、亀川一成、豊見山常竜、山城春喜、野原康弘他
16	定期公演	10月20日	昼	組踊	組踊「巡見官」 「むんじゅる」「貫花」 「取納奉行」「花風」 他	国場涼太、仲宗根弘将、大城常政、嘉陽田朝裕、宇座仁一、平田智之、具志堅朝堅、宮城茂雄、儀保政彦、眞境名律弘、海勢頭あける、神谷清一、仲村圭央、金城清一他

期 日 等					公演名・演目	出演者
17	普及公演	10月25日 10月26日	朝昼 朝昼	組踊	「生徒のための組踊鑑賞教室」 解説 組踊「執心鐘入」	知花小百合、金城真次、田口博章、山城亜矢乃、石川直也、岸本隼人、平田智之他
18	企画公演	11月10日	夜	本土の芸能	「国立劇場寄席」 「寄席囃子の実演解説」 「落語（紀州）」「紙切り」 「落語（千早振る）」他	柳家小三治、柳家喬太郎、柳家喬之助、林家たけ平、林家正楽他
17	普及公演	11月15日 11月16日	朝昼 朝昼	組踊	「生徒のための組踊鑑賞教室」 解説 組踊「執心鐘入」	知花小百合、金城真次、田口博章、山城亜矢乃、石川直也、平田智之、岸本隼人、玉城匠他
19	企画公演	11月25日	昼	アジア・太平洋地域の芸能	「インド伝統芸能」 解説 伝統舞踊と古典音楽 「ガネーシュ アールティ、ジャイデヴ ジャイデヴ ジャイデヴ」「ディルケアーエネ」「メリジンダギ ハイザリム」他	長谷川時夫 ザ・プラネッツ、ペナーズ・マサーニー、ペナーズ・マサーニー他
20	企画公演	12月8日	昼	琉球舞踊	「創作舞踊」 佳作「来訪神 童神」、奨励賞「春華」、大賞「てだ心」	亀浜律子、川満香多、田口博章、玉城千枝他
21	定期公演	12月22日 12月23日	夜昼	沖縄芝居	琉球史劇「虎！北へ走る」	嘉数道彦、宮城茂雄、宇座仁一、金城真次、天願雄一、川満香多、知花小百合、大湾三瑠、小嶺和佳子、呉屋かなめ、阿嘉修、山城亜矢乃、普久原明、高宮城実人、伊良波さゆき、平田智之、石川直也他
22	定期公演	1月6日	昼	組踊	組踊「孝行竹壽之巻」 「かぎやで風」「揚作田節」	海勢頭あける・赤嶺正一、宇座仁一・宮城茂雄、金城真次、天願雄一、川満香多、石川直也、真境名律弘、嘉手苺林一他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
23	定期公演	1月19日 1月20日	昼 昼	琉球舞踊 「新春琉舞名人選～嘉例吉の舞～」 「かぎやで風節」「女こてい節」「稲まづん」「作田」「かせかけ」「伊野波節」他	金城清一、高江洲清勝、海勢頭あける、又吉世子、花岡勝子、嘉数紀美子、玉城千枝他
24	定期公演	1月26日	昼	琉球舞踊 琉舞鑑賞会「初春の舞」 「若衆特牛節」「ゼイ」「兄弟獅子」「仲里節」他	比嘉梨乃・比嘉彩乃、砂川徳博・砂川政秀、城間末子・知念みさ子、新垣江里子・新垣麻里子他
25	定期公演	2月9日	昼	組踊 組踊公演「矢蔵之比屋」 「巖の松」、「湊くり節」、組踊「矢蔵之比屋」他	仲村圭央、石川直也、神谷武史、宇座仁一、真境名律弘、佐辺良和、宮城茂雄、東江裕吉他
26	企画公演	2月16日	昼	琉球舞踊 「新春ゆらていく遊ば」 音楽劇「心と姿」、「正月のあやぐ」、「恋し辻村」他	阿嘉修、宮城茂雄、嘉数道彦、玉城匠、西門悠雅他
27	定期公演	2月24日	昼	民俗芸能 「沖縄本島民俗芸能祭（宜野座村）」 字松田「道ジュネー」、字宜野座「みるく」、字漢那「長者の大主」、字惣慶「ミジタヤー」	字松田、字宜野座、字漢那、字惣慶区民
28	企画公演	3月15日 3月16日 3月17日	夜 昼 昼	新作組踊 新作組踊「聞得大君誕生」 「四つ竹」若衆踊「若衆塵」女踊「柳」他	坂東玉三郎、川満香多、宇座仁一、新垣悟、阿嘉修、石川直也、平田智之、嘉数道彦、佐辺良和、宮城茂雄、天願雄一、親泊邦彦、金城真次他
29	定期公演	3月24日	昼	琉球舞踊 「花形女性舞踊家の会」 「本貫花」「ゼイ」「仲里節」「南洋浜千鳥」他	小嶺和佳子、仲程めぐみ、座喜味米子、平良昌代他

※ 8月26日の組踊公演「姉妹敵討」は、台風15号接近のため中止した。9月29日の組踊公演「二童敵討」は、台風17号接近のため中止した。

自主公演入場率

	月 日	公演名		座席数	入場者数	入場率	目 標 入場者数	目 標 入場率
				(a)	(b)	(b)/(a)		
1	4月 14日	十六夜朝顔と創作舞踊	夜	622席	325人	52.3%	316人	50.0%
2	15日	十六夜朝顔と創作舞踊	昼	621席	319人	51.4%	348人	55.1%
3	28日	新進舞踊家の会	昼	569席	343人	60.3%	316人	50.7%
4	5月 12日	御冠船踊の世界Ⅱ孝行の巻	昼	569席	378人	66.4%	405人	71.7%
5	26日	うりずんの舞	昼	249席	225人	90.4%	153人	61.4%
6	6月 9日	伊江島ハンドー小	夜	623席	545人	87.5%	348人	55.1%
7	10日	伊江島ハンドー小	昼	623席	570人	91.5%	379人	61.2%
8	24日	組踊鑑賞教室（社会人）	昼	578席	549人	95.0%	376人	66.5%
9	30日	男性舞踊家の会	昼	623席	563人	90.4%	348人	55.9%
10	7月 14日	北山崩	昼	569席	467人	82.1%	376人	66.5%
11	28日	琉球弧の島唄	夜	249席	195人	78.3%	140人	56.2%
12	8月 11日	組踊鑑賞教室（親子）	昼	565席	468人	82.8%	405人	70.1%
13	25日	姉妹敵討	昼	569席	334人	58.7%	347人	60.0%
14	9月 8日	奇縁の巻	昼	569席	146人	25.7%	376人	66.5%
15	22日	琉球舞踊特選会	昼	623席	542人	87.0%	411人	66.0%
16	10月 6日	琉舞鑑賞会 豊穰の舞	昼	249席	197人	79.1%	153人	61.4%
17	14日	多良間島の八月踊り	昼	623席	548人	88.0%	474人	76.6%
18	20日	巡見官	昼	569席	196人	34.4%	376人	66.5%
19	25日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	369人	63.8%	404人	70.0%
20	25日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	508人	87.9%	405人	70.0%
19	26日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	392人	67.8%	404人	70.0%
20	26日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	494人	85.5%	405人	70.0%
22	11月 10日	国立劇場寄席	夜	623席	588人	94.4%	506人	81.2%
23	15日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	565席	443人	78.4%	404人	70.0%
24	15日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	473人	81.8%	405人	70.0%
25	16日	組踊鑑賞教室（生徒）	朝	578席	430人	74.4%	404人	70.0%
26	16日	組踊鑑賞教室（生徒）	昼	578席	407人	70.4%	405人	70.0%
27	25日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	621席	285人	45.9%	316人	51.1%
28	12月 8日	創作舞踊	昼	623席	384人	61.6%	316人	50.7%
29	22日	虎！北へ走る	夜	566席	219人	38.7%	348人	55.1%
30	23日	虎！北へ走る	昼	566席	372人	65.7%	379人	61.2%
31	1月 6日	孝行竹壽之巻	昼	569席	272人	47.8%	376人	66.5%
32	19日	新春 琉舞名人選	昼	623席	363人	58.3%	411人	66.0%
33	20日	新春 琉舞名人選	昼	623席	353人	56.7%	411人	66.0%
34	26日	琉舞鑑賞会 初春の舞	昼	249枚	169人	67.9%	166人	66.7%

	月 日	公演名		座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	目 標 入場者数	目 標 入場率
35	2月 9日	矢蔵之比屋	昼	569席	364人	64.0%	376人	66.5%
36	16日	新春ゆらていく遊ば	昼	619席	244人	39.4%	316人	51.1%
38	2月 24日	沖縄本島民俗芸能祭（宜野座村）	昼	619席	555人	89.7%	474人	76.1%
39	3月 15日	聞得大君誕生	夜	617席	567人	91.9%	379人	61.2%
40	16日	聞得大君誕生	昼	632席	592人	93.7%	379人	60.0%
41	17日	聞得大君誕生	昼	632席	585人	92.6%	379人	60.0%
42	24日	花形女性舞踊家の会	昼	623席	280人	44.9%	316人	50.7%
	合 計			23,647 席	16,618 人	70.3 %	15,131 人	63.5 %

(2) 公演事業委員会の開催

平成25年度開催の自主公演のあり方について検討するため、公演事業委員会を4月10日、9月27日に開催した。

(3) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

① 公演チラシ等の作成・配布

ア 公演毎にチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館等へ配布を行った。

イ チラシボックスを役所や公民館、図書館等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（405団体）にチラシを配布した。

ウ 那覇（167）と浦添（42）市内の自治会長会へ奇数月にチラシを配布した。

エ 沖縄県レンタカー協会賛助会に加盟し、協会加盟営業所に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

オ 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、各OCVB事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

② 看板、ポスター等掲出

ア 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

イ 沖縄都市モノレールの窓上広告として、隔月ごとに施設案内及び公演案内のポスターを掲示した。

ウ 那覇空港内2カ所に電照看板に劇場案内を掲出した。

エ 沖縄都市モノレール（ゆいレール）駅全15駅に設置された路線図等看板に、劇場案内を掲出した。

③マスコミへの情報提供・広告掲載

ア 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

- ・新聞： 琉球新報、沖縄タイムスでの公演告知、隔月ごとの広告掲載
琉球新報「レキオ」、沖縄タイムス「ワラビー」、「ほーむぷらざ」（週刊）コーナー内での公演案内とチケットプレゼントを行った。
- ・ラジオ： ラジオ沖縄「民謡の花束」内での公演告知（毎週）
- ・Web： 「九州沖縄から文化力」での公演告知
- ・雑誌： 「YASA」、「話くわっちー」、「びらつか暦」、（以上月刊誌）
「ちゅらナビ」、「モモト」、「にぎやか談話室」、「日本の祭り」（以上季刊誌）、「沖縄のまつり2012」、「沖縄観光先読みカレンダー2013」（年1回）への公演情報掲載

イ 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・新聞： 沖縄タイムス、琉球新報、宮古新報、宮古毎日新聞、Japan Update（地元英字新聞）
- ・テレビ： NHK、OTV、QAB、RBC、BS日テレ、宮古テレビ
- ・ラジオ： ラジオ沖縄、RBCiラジオ（スポットCM）、FM沖縄
- ・Web： ぷらっと沖縄、文化庁月報、日本政府観光局ウェブサイト「月間webマガジン」、Calend-Okinawa
- ・雑誌： 「南ぬ風」（沖縄美ら島財団広報誌）、「Island Guide」（英語版沖縄ガイド）、「楽学ブックス／琉球文化と世界遺産」（JTBパブリッシング）、「おきなわ倶楽部」（県内月刊情報誌）

④ポスター等展示による劇場外イベント

ア 県庁ロビー展

県庁1階ロビーでパネル及びポスターの展示、チケット予約及び友の会入会案内等を行った（平成24年8月27日～31日）。

イ パレットくもじロビー展

パレットくもじ1階ロビーで、パネル及びポスターの展示を行った（平成24年12月27日～平成25年1月7日）。

ウ 国立劇場小劇場ロビーでの公演宣伝・劇場紹介

国立劇場小劇場において、公演ポスター掲示やチラシ配布などにより、公演案内や劇場紹介等を行った。（平成25年3月8日～10日の「新作組踊聞得大君誕生」東京公演期間中）

⑤その他

ア 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

イ 日本芸術文化振興会の月刊誌「振興会ニュース」に公演案内を毎月掲載した。

ウ 2013年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売および配付を行った。

エ 1月組踊公演「孝行竹壽之巻」及び琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では公演3日間計350名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント（カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ）を行い、新春公演の雰囲気

気を盛り上げた。

オ 6月沖縄芝居公演「伊江島ハンドー小」では、稽古場レポートを劇場HPに掲載した。

カ 日本復帰40周年にちなみ、復帰世代が多く出演する、4月琉球舞踊公演「新進舞踊家の会」及び7月三線音楽公演「琉球弧の島唄」を、「本土復帰40周年記念公演」と銘打ち、本土復帰と共に育ってきた出演者による記者発表を行うなど、広報宣伝活動に務めた。

キ 6月沖縄芝居公演「伊江島ハンドー小」、10月民俗芸能公演「多良間の八月踊り～塩川の芸能～」、2月民俗芸能公演「沖縄本島民俗芸能祭（宜野座村）」及び3月企画公演「新作組踊聞得大君誕生」では、公演にちなんだ地元の物産を販売する物産展やパネル展示、琉球伝統菓子の販売などを行い、地元の賑わいや琉球王府時代の雰囲気を出し、公演を盛り上げた。

ク 平成25年1月からの年間公演案内チラシを作成し、公演来場者割合の多い近郊3市（浦添、那覇、宜野湾）計14万世帯に新聞の折り込みを行った。

(4) バックステージツアーについて

国立劇場おきなわは、地域への還元を図り劇場への理解を深める機会を設けるため、下記のとおり、2種類のバックステージツアー及び組踊ワークショップを企画した。

①小・中・高校生（親子）向け

「国立劇場おきなわ 夏休み親子劇場探検ツアー及び組踊ワークショップ」

平成24年8月3日（金）～4日（土） 計4回実施

参加者： 135名

②一般向け

「国立劇場おきなわ バックステージツアー」

平成24年8月5日（日） ※2回実施予定だったが台風のため中止

参加予定者： 26名

(5) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

〔実績〕 会員総数2,193名（平成25年3月末現在）

	会 員 数 推 移												24年度 合計	
	24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年 1月	2月		3月
新規 入会者	98	71	93	103	49	52	60	83	111	138	431	92	97	1,380
未更新 (退会込み)	44	91	46	47	66	60	64	48	84	100	76	99	63	844
増減	54	△ 20	47	56	△ 17	△ 8	△ 4	35	27	38	355	△ 7	34	2,224
会員数	1,657	1,637	1,684	1,740	1,723	1,715	1,711	1,746	1,773	1,811	2,166	2,159	2,193	2,193

※会員数＝ 前月末会員数＋新規入会者－退会者

※新規入会者＝新規入会者＋未更新者（更新月が前月まで）の更新

※未更新（退会）＝退会者＋当月更新月の未更新者

①会報の発行

6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

②会員対象催事の実施

自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

ア 「南部歌碑めぐりバスツアー」

日 時： 平成24年10月13日（土）

参加人数： 39名

バスにて南部地区の歌碑を巡り、現地にて歴史ガイドが解説を行った。

イ 「半日バスツアー及び公演鑑賞会」

日 時： 平成24年12月8日（土）

参加人数： 35名

バスにて首里城・浦添グスク等を巡り、現地にて歴史ガイドの解説を行った。その後、劇場において公演鑑賞（「創作舞踊」）を行った。

ウ 「新春講演会」

日 時： 平成25年2月9日（土）

参加人数： 42名

小劇場において、実演をまじえて琉球舞踊について解説を行った。

3 組踊(立方・地方)伝承者の養成

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業「第3期組踊研修」で次の内容を実施した。

1 研修の実施（第3期組踊研修：平成23年4月～平成26年3月）

組踊（立方・地方）： 第3期（9名）の2年目の研修を実施。

立方4名及び地方5名（歌三線4名、太鼓1名）

2 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、比嘉聰ほか（総勢15名）

3 養成状況

(1)主な授業 組踊実技（立方、三線、太鼓）、副実技（琉球舞踊、箏、胡弓、太鼓）
発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球方言基礎、詞章研究、発表会等

(2)授業回数 合計354回

- ・組踊実技の実施（90分の156回）
- ・副実技の実施（90分の39回）
- ・基礎実技の実施（90分の96回）
- ・講義研修の実施（90分の35回）
- ・鑑賞・見学研修の実施（90分の22回）
- ・発表会・年間の総括（90分の4回）

・講話等の実施（90分の2回）

(3) 休暇等 夏季休暇 平成24年8月24日（金）～9月2日（日）

冬季休暇 平成24年12月12日（水）～平成25年1月6日（日）

4 研修生発表会の実施

第3回組踊研修生発表会：平成24年10月4日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「銘苅子」、舞踊「作田」、「前之浜」

鑑賞者数：496名

第4回組踊研修生発表会：平成25年3月7日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「孝行の巻」、舞踊「谷茶前」、「鳩間節」

鑑賞者数：454名

5 メニュー、研修実施方法等の検討

組踊研修講師会議の実施（年間5回）

6 組踊研修修了生第2回発表会（既成者研修）：平成24年12月15日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「手水の縁」、舞踊「女特牛節」 斉唱「出砂節」、「辺野喜節」

鑑賞者数：308名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	7	39	2	48
逐次刊行物	冊	113	131	13	257
公演・演出台本	冊	0	8	18	26
上演資料集	冊	0	14	23	37
合 計		120	192	56	368

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	48	48
録画テープ(DVCAM)	本	0		56	56
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	56	56
DVD	枚	13	8	127	148
データCD	枚	2	1	0	3
レコード・CD	枚	5	2	0	7

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
組踊等衣裳	点	2	0	0	2
ポスター	枚	0	6	46	52
チラシ	枚	0	73	2	75
展示図録	点	0	2	0	2
冊 子	点	0	159	4	163
合 計		22	251	339	612

主な寄贈資料

氏 名	所属／役職等	主な寄贈品
平田 永二	実演家	笛 2 本
名護市役所	名護市史編さん委員会	名護市史 本編 8
琉球大学		大学紀要
沖縄県立芸術大学		大学紀要

主な資料購入品

品 名	詳 細	分 類
紅型	古典舞踊衣裳	衣裳
緋	古典舞踊衣裳	衣裳

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわが自主公演する演目に関する上演記録、演技・指導に関する資料・論文を網羅し、演技演出の向上と、一般の公開に活用するために刊行した。「姉妹敵討」「巡見官」「矢藏之比屋」の3演目を刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。各200冊刊行。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣裳、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

<企画展実績>

期 間	種別	名 称	内 容
平成24年 4月14日（土） ～6月24日（日） 72日	企画展	「琉球歌劇への誘い～伊江島ハンドー小」	自主公演沖縄芝居に「伊江島ハンドー小」をテーマに取り上げ、琉球歌劇の代表作である本作品の誕生の歴史や見どころを衣裳や小道具、写真等を通して紹介。
平成24年 7月14日（土） ～9月23日（日） 72日	企画展	「紅型～組踊・琉球舞踊の衣裳～」	琉球染織の粹である紅型を琉球舞踊や組踊で用いられる扮装とともに紹介した。
平成24年 10月6日（土） ～12月16日（日） 72日	企画展	「踊衣裳の美(名匠展)」	名匠達が制作した「琉球舞踊」や「創作舞踊」に用いられる踊り衣裳を展示紹介。
平成25年 1月12日（土） ～3月17日（日） 65日	企画展	「収蔵資料展」	平成16年1月の開場以来、国立劇場おきなわが収集してきた各種沖縄伝統芸能関連の貴重資料の一部を展示公開する。

4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）：11,248人（281日間）

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

- ①平成24年度自主公演29公演、研修生発表会1公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。
- ②組踊公演（5回）、研究公演（1回）の小道具を写真撮影。
- ③公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数延べ338人。

(5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

①活用実績（平成24年度）

レファレンスルーム利用者1,630人（うち一般685人）

映像視聴989件（992時間）、映像複製267件（114時間）

公開資料：平成16年度～24年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(6) 沖縄芸能史年表

沖縄の伝統芸能の上演に関する芸能史を調査編集し、報告書を作製した。

<実績>

- ・ 県内刊行の新聞『琉球新報』等4紙から琉球・沖縄に関する芸能記事を調査編集し、沖縄芸能史年表「第九集（上・下）」として報告書を作製・刊行した。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況

平成24年度における劇場施設（大劇場、小劇場、稽古室等）の利用実績状況については、次のとおりである。

①大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	5	9	
演劇	1	1	
舞踊	10	17	
古典音楽	6	7	
民謡	0	0	
民俗芸能	1	1	
その他	16	20	講演会、ベリーダンス等
計(1)	39	55	
目標日数		81	
達成率		67%	

※平成23年度と比較すると、件数で17件の減、使用日数で26日の減。

②小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	10	13	
演劇	1	1	
舞踊	28	49	
古典音楽	3	5	
民謡	1	1	
民俗芸能	2	4	
その他	43	48	講演会、朗読、研修会、ベリーダンス等
計(2)	88	121	
目標日数		73	
達成率		165%	

※平成23年度と比較すると、件数で18件の増、使用日数で20日の増。

③大劇場+小劇場

合計	件数	使用日数
(1)+(2)	127	176

※平成24年度計画における
目標使用日数：154日

※平成23年度の実績と比較すると、件数で1件の増、使用日数で6日の減。

④稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	145件	623.0時間
中稽古室	322件	1,003.5時間
第1小稽古室	212件	671.0時間
第2小稽古室	361件	1,127.5時間
第3小稽古室	213件	634.0時間
第5小稽古室	284件	760.0時間
第6小稽古室	355件	1,041.0時間
交流プラザ	82件	174.5時間
録音スタジオ	1件	5.0時間
養成研修室	67件	186.0時間
会議室	5件	13.0時間
合計	2,047件	6,238.5時間

※平成23年度の実績と比較すると、件数で388件増加し、使用時間で1,514.5時間増加している。

(2)貸劇場等の宣伝広報等

- ①施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載し、その更新頻度を上げた。
- ②劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ③自主公演チラシ、国立劇場おきなわ友の会報誌、ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- ④平成25年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- ⑤稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

業務委託費

- ①警備業務請負契約
- ②清掃業務請負契約
- ③電気・機械設備保守等業務請負契約
- ④舞台技術常駐業務請負契約
- ⑤劇場案内等運営業務請負契約

機械保守費

- ①中央監視システム保守点検業務請負契約
- ②舞台機構設備保守請負契約
- ③音響設備定期保守業務請負契約
- ④照明設備定期保守業務請負契約
- ⑤電気・機械設備機器定期保守点検業務請負契約

7 前各号の業務に附帯する業務

(1) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

平成24年度 アクセス件数 259,376 件（1日平均 711 件）
メールマガジン（月1回発行）登録件数 533件

8 寄付金(基本財産)の実績

(1) 賛助会活動の推進

概要： 組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

(単位：千円)

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,350	200	395	1,945
収入	件数	14件	1件	11件	26件

(2) 募金活動の推進

概要： 賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

(単位：千円)

		職場
募金収入	金額	545
	件数	150件